

石原謙 いしはら けん キリスト教史學者、文學博士。明治十五年八月一日東京生れ、昭和五十一年七月四日歿（八二—一九六）。明治四十年東京帝國大學文科大學哲學科卒。大正十年同大助教授、歐洲留學後、二十二年東北帝大教授、昭和十五年東京女子大學學長、二十七年青山學院大學教授、四十八年文化勳章受章。眼科醫石原忍、物理學者石原純あつしの弟。
『石原謙著作集』全十一卷（昭和五十三年十一月十日—五十四年九月十日岩波書店）刊。

著譯書 『宗教哲學』（大正五年七月—二十一年）岩波書店 『哲學叢書』（

ハインリッヒ著 『原始基督教』（山谷省吾共譯、大正六年七月—二十五年

岩波書店）、ヴァイルヘルム・ヘルマン著 『基督教の道體』（郷司健爾

共譯、大正十一年九月—二十五年）岩波書店）、『ギリシヤ人の哲學思

想』（昭和二年六月十八日日本評論社 『社會科學叢書』）、H・V・

シューベルト著 『宗教改革の世界史的意義』（譯、昭和六年十月—二十

五年）岩波書店）、マルティン・ルター著 『基督者の自由他（二篇）』（譯、

昭和八年十一月—十五年）岩波書店 『岩波文庫』（『基督教史』（昭和

九年九月—二十五年）岩波書店 『岩波全書』（『新約聖書』（昭和十年

十一月—十五年）岩波書店 『大思想文庫』（ルター著 『信仰要義』（譯、

昭和十四年六月—十五年）岩波書店 『岩波文庫』（同『マリヤの讚歌他

一篇』（吉村善夫共譯、昭和十六年二月—十四年）岩波書店 『岩波文庫』（

『學生の西洋』（今日著・河合榮治郎編、昭和十六年四月—十五年）日本評

論社）、『マルティン・ルターと宗教改革の精神』（昭和十九年五月

—十五年）教文館）、『生命の言』（新約聖書ヨハネ書論講解）』（昭和二十

一年四月—日春光社）、『中世キリスト教研究』（昭和二十七年七

月二十五日岩波書店)、
『宗教と哲學の根本』ありものー波多野精一
博士の學業について』(合著、昭和二十九年九月十日岩波書店)、
『キリスト教の源流』(ヨーロッパ・キリスト教史―上巻)』(昭和四十七
年二月二十九日岩波書店)、
『キリスト教の展開』(ヨーロッパ・キリス
ト教史―下巻)』(昭和四十七年九月二十日岩波書店)等。